

平成27年度園芸学会秋季大会シンポジウム課題

日時:平成27年9月26日(土)午後

場所:徳島大学常三島キャンパス

I. サクラ属果樹における環境変化への対応に関する研究の進展(公開シンポジウム)		会場:工学部共通講義棟2F K206
	コンビーナー:香川大農学部	別府賢治 13:15 ~ 13:20
1. 夏季の気象変動によるモモの果肉障害の機構解析と対策技術開発	岡山大院環境生命科学研究所	13:20 ~ 14:05 福田文夫
2. オウトウ栽培における高温による結実性の問題とその改善	香川大農学部	14:05 ~ 14:50 別府賢治
休憩		14:50 ~ 15:05
3. サクラ属果樹の休眠制御機構に関する研究	京都大院農学研究科	15:05 ~ 15:50 山根久代
4. サクラ属果樹における環境変化への対応に関する育種的研究	農研機構果樹研	15:50 ~ 16:30 八重垣英明
総合討論		16:35 ~ 17:00
II. 野菜の新たな耕種的防除法と新技術定着のための要因解明(公開シンポジウム)		会場:地域連携プラザ2F 大ホール
	コンビーナー:農研機構野菜茶研	浦上敦子 13:15 ~ 13:20
1. アスパラガス茎枯病の新たな耕種的防除法の開発	酪農学園大農食環境学群	13:20 ~ 13:50 園田高広
2. 作物の獲得抵抗性を利用した病害防除法の開発と普及への取り組み	茨城大農学部附属フィールドサイエンス教育研セ	13:50 ~ 14:20 佐藤達雄
3. 地域農業者と連携したれんこん田太陽熱消毒技術の開発と技術普及への取り組み	徳島農総技支援セ	14:20 ~ 14:50 澤田英司
休憩		14:50 ~ 15:05
4. 施設果菜類における土着天敵タバコスカミカメを利用したIPM技術の開発と普及	高知環境農業推進課	15:05 ~ 15:35 中石一英
5. 植生を活用した露地と施設栽培ナスの害虫管理ー生産現場での取り組みを例として	徳島農総技支援セ	15:35 ~ 16:05 中野昭雄
総合討議		16:10 ~ 16:40
III. 花木類の育種の現状と課題(公開シンポジウム)		会場:工学部共通講義棟4F K407
	コンビーナー:琉球大農学部	嬉野健次 13:15 ~ 13:20
1. ツバキ類における育種の現状と課題	東海大農学部	13:20 ~ 13:50 田中孝幸
2. ツツジ類における育種の歴史、現状および課題	島根大生物資源科学部	13:50 ~ 14:20 小林伸雄
3. ボタン類における育種の歴史、現状および課題	元島根大生物資源科学部	14:20 ~ 14:50 細木高志
休憩		14:50 ~ 15:05
4. アジサイ類における育種の現状と課題	福岡農林総試資源活用研セ	15:05 ~ 15:35 巢山拓郎
5. 新規花木類の導入(ジャカラダの育種と新規花卉導入の課題)	九州大熱帯農学研セ	15:35 ~ 16:05 宮島郁夫
総合討論		16:10 ~ 16:40
IV. 次世代シーケンサーの園芸学研究における利用(公開シンポジウム)		会場:工学部共通講義棟6F スタジオ
	コンビーナー:岡山大院環境生命科学研究所	中野龍平 13:10 ~ 13:15
1. 園芸利用分野における次世代シーケンサーの活用の可能性ーはじめにー	岡山大院環境生命科学研究所	中野龍平 13:15 ~ 13:25
2. 次世代シーケンサーを利用した配列解読と遺伝子発現ネットワーク解析	明治大農学部	矢野健太郎 13:25 ~ 14:00
3. RNA-seqによる果樹作物におけるトランスクリプトーム解析	愛媛大農学部	羽生 剛 14:00 ~ 14:35
休憩		14:35 ~ 14:50
4. RAD-seqによるトルコギキョウの八重咲き形質に連鎖する遺伝子の探索	東京大院農学生命科学研究科	石森元幸・河鱈実之 14:50 ~ 15:25
5. 次世代シーケンサーを利用したレトロトランスポゾン挿入部位の網羅的な配列決定とその園芸作物における遺伝解析技術への応用	岡山大院環境生命科学研究所	田原 誠・門田有希 15:25 ~ 16:00
6. 次世代シーケンサーを用いたエピゲノム解析	筑波大生命環境系	柴 博史 16:00 ~ 16:35
総合討論		16:40 ~ 17:10

シンポジウム終了後は大会会場から懇親会会場(阿波観光ホテル)まで臨時バスを運行しますので是非ご利用ください。